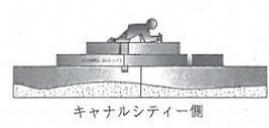


既存モニュメントのコンセプト

●博多区役所側及びキャナルシティー側の作品

●タイトル：『Little painter』（小さな画家）

●コンセプト： 泉から生まれる新しい出会いと発見の願いを込めた作品です。子どものオブジェが描く線から流れる水は、実際に一心不乱に創造豊かにペインティングを行う子どもたちが描くもののように、そこには常に新しい発見に満ちた創造力があり、やがて、その空間に触れる人々の心に溢れる泉となって、多くの発見と出会いと思い出を作っていくことでしよう。



●中央にある作品

●タイトル：『poet of Asia』（アジアの詩人）

●コンセプト： そこに集う人々が主役となって、空間を創り上げてゆく姿を作品にしました。玉を転がしている人型のオブジェは、4つの季節を転がす詩人です。彼が玉を転がすと、その玉には、この空間に集う人々や廻りの風景の移ろいが映し出され、そこには常に新しい物語が誕生し、その玉の軌跡からは、新しい言葉や詩が生まれてきます。又、まわりにある、大きな石の四角錐・円柱・立方体は、子どもの頃、遊んだ積み木の形を借りて、この空間に訪れた人々の心の奥底にある懐かしい記憶を引き出し、童心へと誘うオブジェです。

全ての作品の中に見られる文字は、日本で親しまれている童謡です。四季の移ろいを間近に感じてほしいとの願いを込めて構成している、この空間の中で、それぞれの童謡も、日本の四季に触れて親しまれた唄を選曲しています。都会の喧噪の中で慌ただしく過ぎてゆく時の中、この公園に立ち寄った時、懐かしい郷里への想い出や、好奇心に満ちた幼い頃の心に還り、改めて日常の中に在る新鮮な驚きと発見をし、自身が癒される都会の中のアオアシスとなるよう祈って止みません。

